



■全体構成・階段室ファサード（外観正面の景観）類似例

- ・外観デザインは故人への感謝を通じ、地域共同体を再生、地域力を上昇させるデザインとします。
- ・会葬者を温かく迎え入れる大屋根とそれを支える柱、自然光を取り入れる大きな開口部は、日本の伝統的な建築様式にもとづいており、地域の歴史に根ざした外観としています。
- ・建物中央部、階段室ファサードは、ルーバーを併用した開口計画とし、機能性を考慮しながら端正な外観のアクセントとしています。このルーバーデザインは東京文化会館（部分的）、ピースセンター（全面）などの著名な近代建築物にもみられるデザインです。

▼東京文化会館（前川國男）

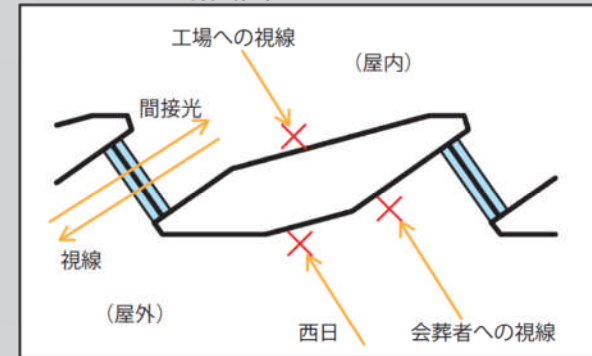
▼ピースセンター（丹下健三）



■階段室ファサードの設計主旨

- ・雄大な丹沢大山と前庭の豊かな植栽を見え隠れさせつつ、敷地西側に隣接した工場への視線をカットします。
- ・階段室内はルーバーの間から漏れる柔らかい間接光に包まれます。
- ・内外の会葬者同士が互いを視認しにくくし、会葬行為のプライバシーを確保します。
- ・ガラス面は北向きとし、ルーバー設置と併せて西日を遮り、熱負荷を軽減させます。
- ・ガラス面積を絞ることで、維持管理費を縮減します。

▼ルーバー断面図



▼階段室



■アプローチ～遠景

風土に調和し落ち着いたある施設として自然素材を積極的に活用します。秦野の民家や丹沢大山を想起させる大屋根が、会葬者を温かく迎え入れます。屋根には維持管理性に優れ、地域に調和した色調の金属屋根を使用します。



■アプローチ～近景

外壁には風合いのある左官材（吹付け）を使用し、秦野の土地に馴染み、心が安らぐ設えとします。大庇の軒裏は地場産材（杉）を使用した木ルーバーとし施設内へと導くデザインとします。



◀施工事例  
木ルーバー部分の仕上げ及びピッチイメージ。（上部のトップライトは今回は採用しない。）

- 施設全体を風合い、落ち着いた空間とするため石・左官材・木などの自然素材を積極的に活用します。
- 自然光を多く取り入れることで照度を確保します。人工照明は極力減らし、目立ちにくい配置に配慮します。
- 施設用途上、高齢者利用が多いためバリアフリーに配慮します。

■エントランスホール

地場産材（杉）の放射状ルーバー天井により、ふるさとの森に包まれるような柔らかい空間を演出します。

壁面は地元の里山で採れる木の葉などを転写した左官材（コテ塗り）とし、床は花崗岩の色調・磨き方を変えることで水面に浮かぶ波紋を表現します。

全体の色調を明るくし、優しく癒される場へと仕上げます。

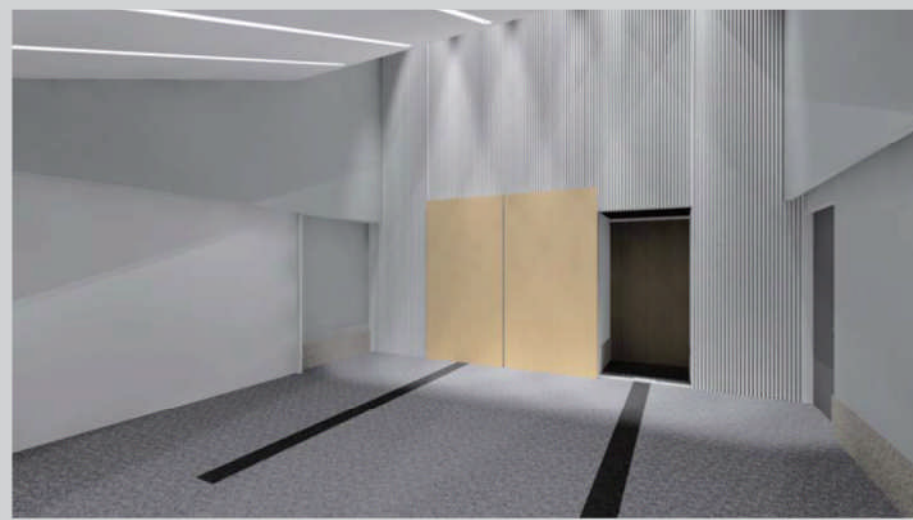


■告別室

告別室はふるさとの大空に還る故人の魂を見送る「最後のお別れの場」です。

トップライトから降り注ぐ自然光と大きな曲線を描く天井により、厳かで上昇感のある空間を演出します。

壁面・天井を明るく、床を落ち着いた色調とすることで、より上昇感を強調させます。正面化粧扉は地場産木材を使用。

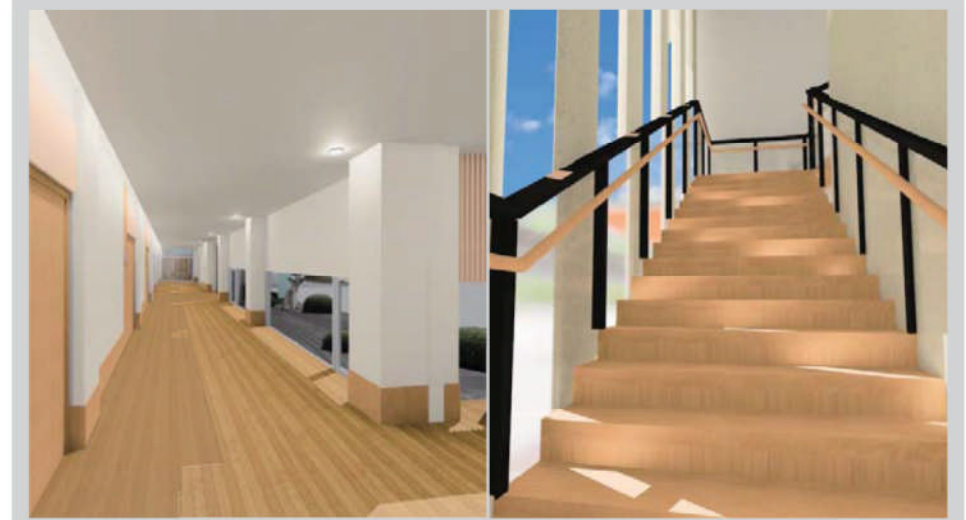


■待合室までの移動（左：1階待合室前廊下 / 右：階段室）

待合室までの心を落ち着かせるための空間として

1階待合室までは石庭、2階待合室へは階段室を通じてふるさとの陽光を取り入れます。

階段のガラス部分にはグラデーションフィルムを貼ることで光を通し開放的な設えとしつつも、視線制御及びガラス飛散防止に配慮します。



■待合室（左：1階 / 右：2階）

待合室は会葬者が故人とその故人を育んだふるさとについて語り合う場です。

ブラウンと白を基調とした仕上げで心地よく、落ち着いた空間とします。また開口部を大きくとり開放感をもたせます。

床材（フローリング）と天井材の一部には、地場産木材（杉）を使用します。



■ロビー

壁面一杯のガラスにより丹沢大山の雄大な景観を取り込み、故人とふるさとへの深い感謝を開放する場です。

インテリア・備品はシンプルにまとめ、丹沢大山への眺望を強調。

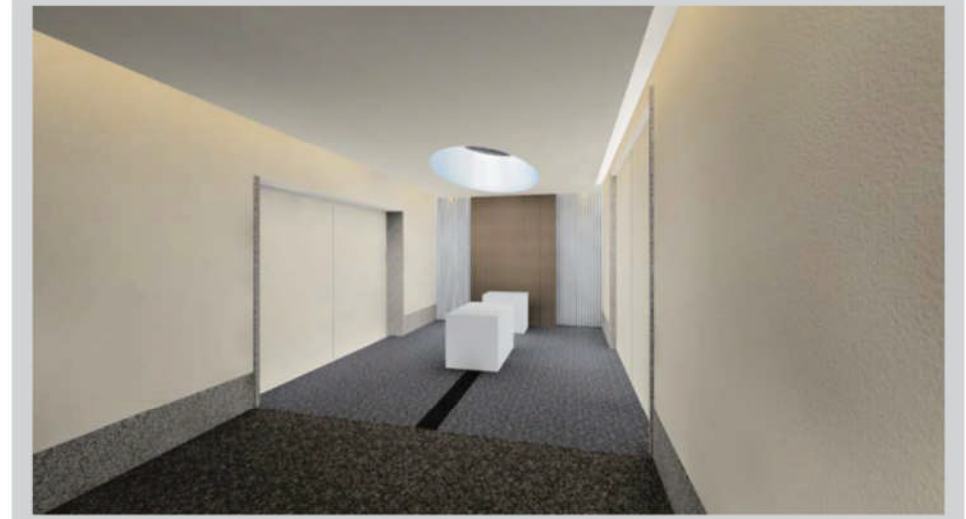
さらに既存棟に屋上緑化を施し、連続した緑の景観を創出します。床は、地場産木材（杉）を使用したフローリングとします。

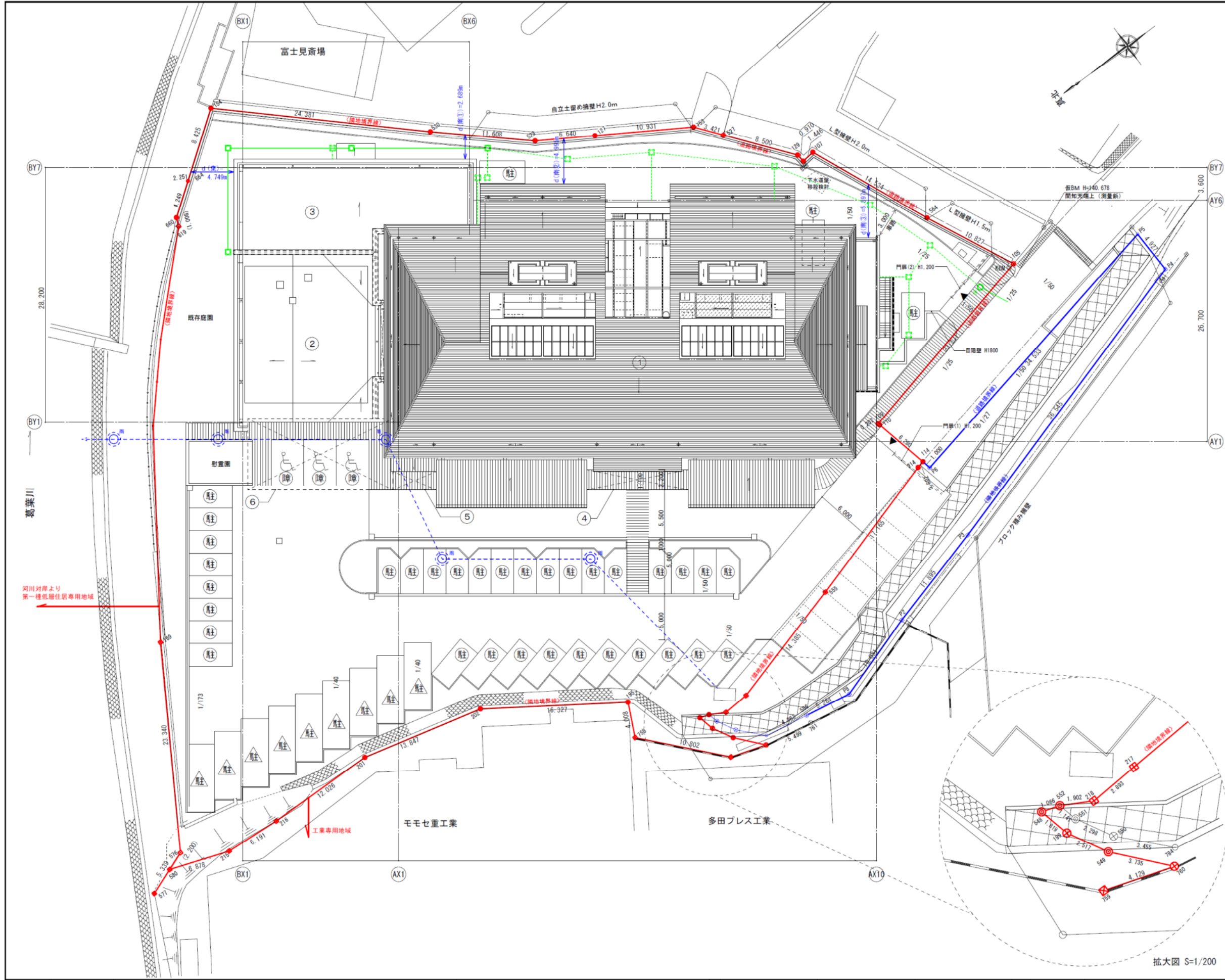


■収骨室

天空からの一筋の自然光と壁を照らす間接照明により、故人の身体が母なる大地に還る場を演出します。

壁面の左官材（コテ塗り）、床は花崗岩とし、収骨時の転倒に配慮し、クッション性のある長尺塩ビシートを一部床材に使用します。それらを落ち着いた色調でまとめることで大地を想起させます。また正面の化粧扉は地場産木材を使用。





凡例	内容
	外構レベルを示す
	地盤面からの建築物各部の高さを示す
	現況地盤レベルを示す
	敷地出入口
	既存躯体部分
	仮ベンチマーク
	道線動線(令128条敷地内の道路 W1500以上)
	延長のおそれのある範囲
	公設樹(雨水)
	公設樹(汚水)
	汚水管ルート
	雨水管ルート
	敷地・道路境界線(※青線は今回購入地の境界線を示す)
	地盤面(※敷地境界線・敷地内建築物の部分から、当該建築物の直上にある建築物の部分までの水平距離)

棟別概要			
番号	建物名称	建物高さ	軒高さ
①	増築棟	13.85m	11.05m
②	改修棟(初期)	4.17m	3.72m
③	改修棟(増築)	4.07m	3.62m
④	庇(1)	2.32m	2.30m
⑤	庇(2)	2.32m	2.30m
⑥	駐車場庇	4.80m	3.00m

・①～③は建築基準法上は一種扱いとなる。  
 ただし、各棟はExp. Jで接続しており、構造上別棟扱いとなる。  
 ・④～⑥は、建築基準法上別棟扱いとなる。  
 ・④～⑥の平面形状は別図による。  
 ・④～⑥は主要構造部を不燃材料で造るため本体建物とは延焼のおそれのある部分を生じないものとする。

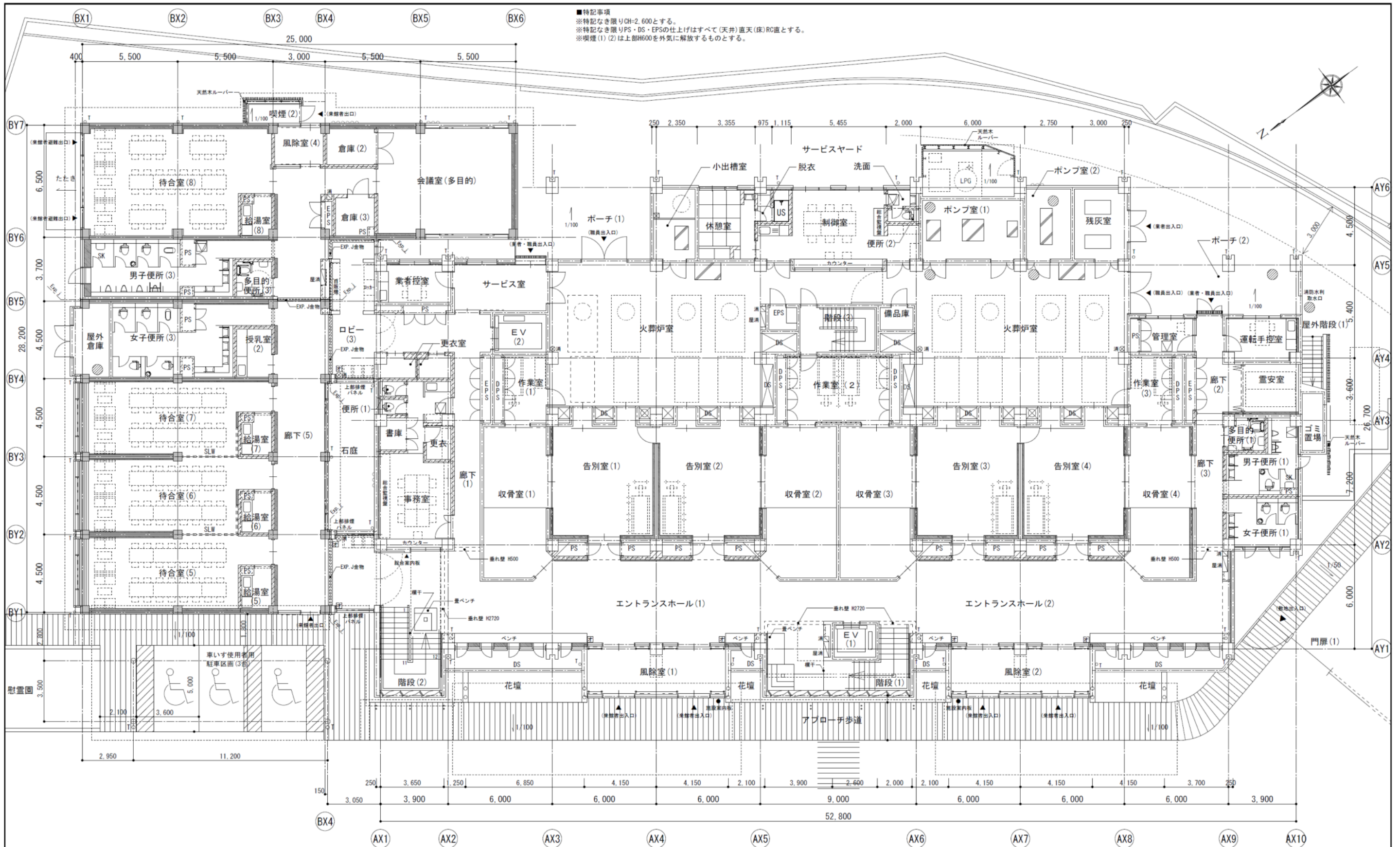
駐車場概要(全48台)		
記号	幅 × 奥行き (mm)	台数
①	2,500 × 5,000	36台
②	3,000 × 7,500	9台
③	3,600 × 5,000	3台

・各駐車場は芝ブロックにより緑化するものとする。

**備考**

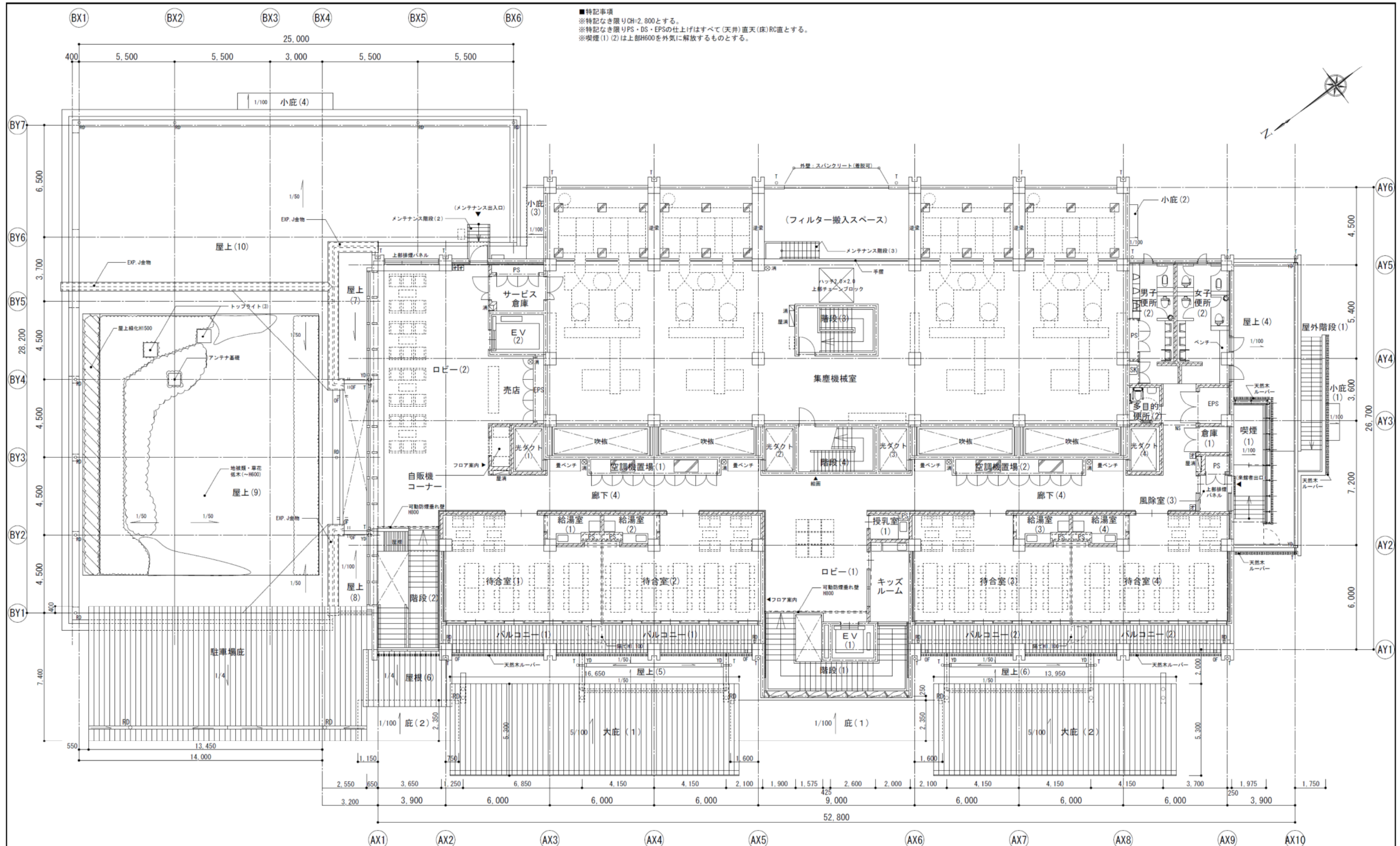
- ・建築基準法上 申請建物 計4棟(構造上6棟)
- ・増築建物位置は既存建築物の通り芯より追い出すものとする。
- ・汚水管は市道361号線内本管φ250に接続(接続管φ150)した既存公設井を利用するものとする。
- ・雨水管は敷地を横断する既存配管の一部を付け替え、葛葉川に放流するものとする。
- ・道路斜線制限にはセットバック緩和(令130条の12)は適用しないものとする。
- ・本計画の建物高さは31m未満のため隣地斜線制限は明らかに適合する。したがって、隣地境界線の範囲は記載しないものとする。
- ・真北根拠は別紙により示すものとする。
- ・隣接関係情報は別紙によるものとする。

拡大図 S=1/200



■特記事項  
 ※特記なき限りCH=2,600とする。  
 ※特記なき限りPS・DS・EPSの仕上げはすべて(天井)直床(床)RC直とする。  
 ※喫煙(1)(2)は上部H600を外気に解放するものとする。

凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容
○	仕上げレベル ※特記なき限り	RC壁	内容	○	スライディングウォール	○	ルーフドレイン ※特記なき限り100φ	■	注意喚起用ブロック	○	延焼の恐れのある範囲	○	H12告示1436号第四号二(一) 適用区域
▽	スラブレベル ※特記なき限り	乾式壁: W110	内容	▽	床下点検口 600角	○	横引きドレイン	■	誘導ブロック	■	防火区画(遺構区画 防煙区画)	○	H12告示1436号第四号二(二) 適用区域
▽	屋外出入口 ※令125条の2の構造の施設とする。	遮音壁 1: TL044 W110(90)	内容	▽	マンホール蓋 600φ	○	バルコニードレイン	□	ミニキッチン(電気ポット用コンセント付)	■	不燃区画(火災予防条例)	○	H12告示1436号第四号二(四) 適用区域
■	既存躯体部分	遮音壁 2: TL051 W150	内容	▽	置き式消火器ボックス	○	壁種 ※特記なき限り100φ	□	ペントキャップ(工事)	■	防煙区画	○	令125条の2-1-3より排煙対象外
		遮音壁 3: TL044 W110	内容	▽	屋内消火栓+消火器(工事)	○	オーバーフロー管			■	防煙区画(垂れ壁)	○	防火設備(法第2号第9号ニ・ロ)
		耐火壁 1: TL044 W150	内容	▽	設備用基礎	○	メンテナンスパイプ			■	自然排煙区画	○	常時閉鎖式防火設備
		ふかし壁: W75(特記なき限り、外壁部分はW100)	内容	▽	排煙オペレーター ※FL=850~1500に設置。	○	一方特/二方特/三方特			■	自然排煙口	○	常時閉鎖式特定防火設備

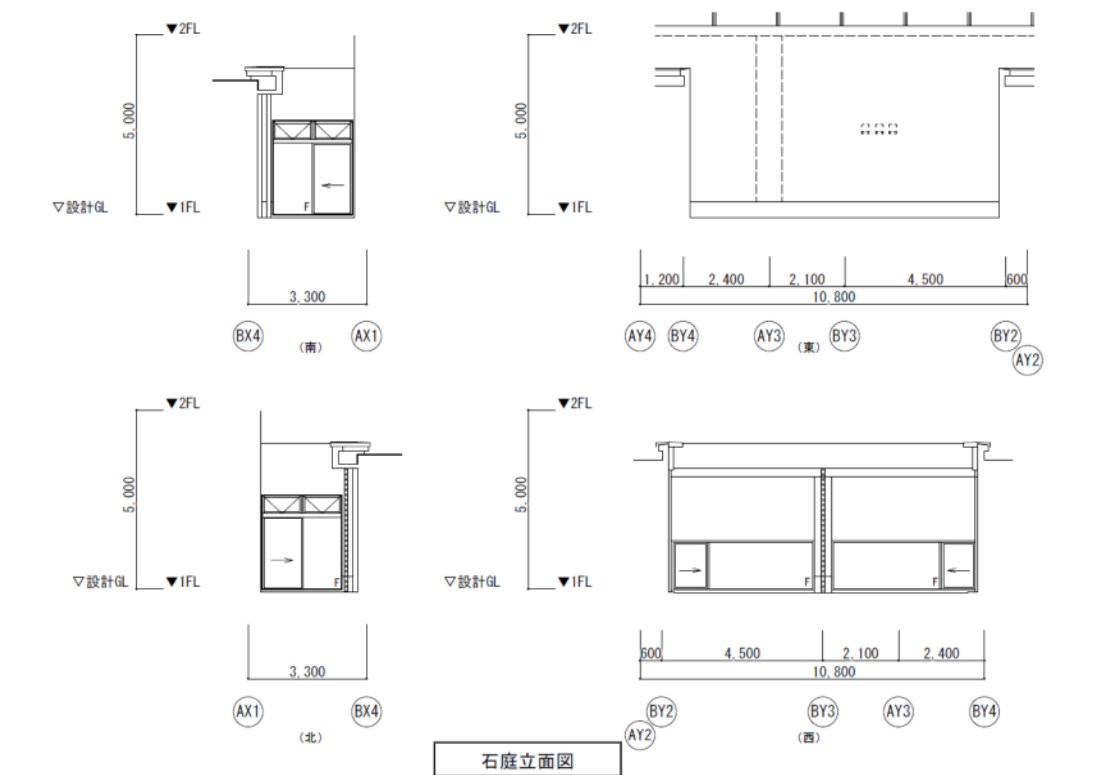
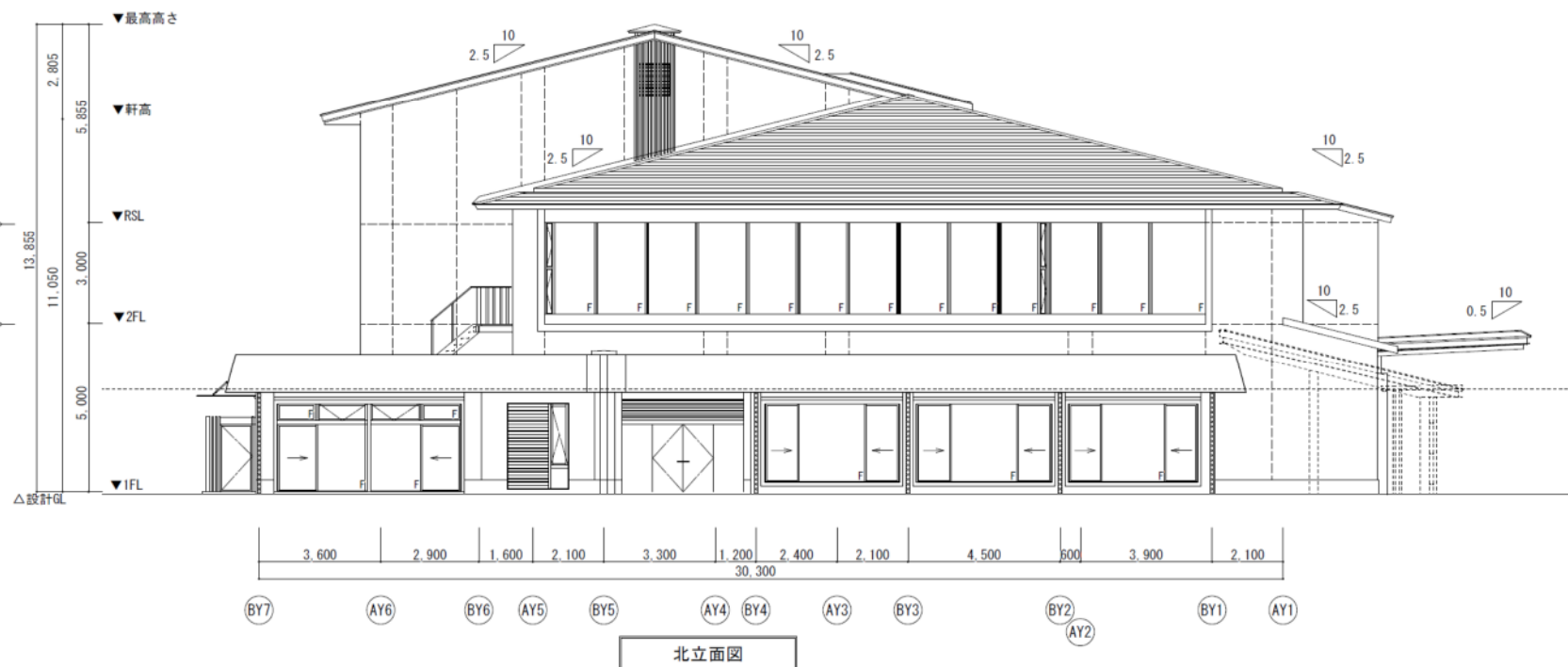
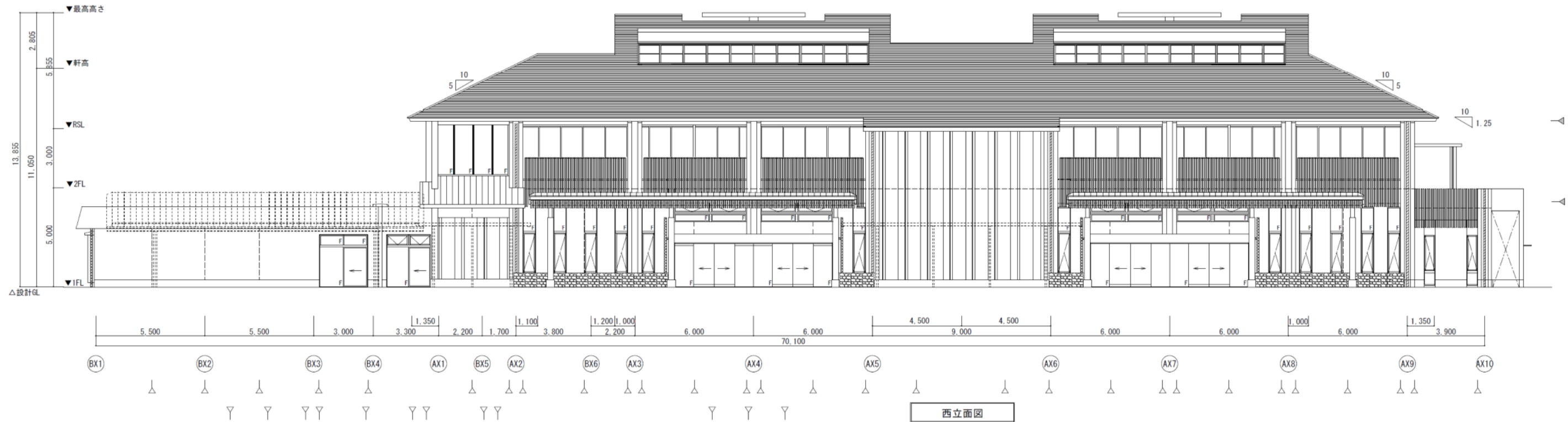


■特記事項  
 ※特記なき限りCH=2,800とする。  
 ※特記なき限りPS・DS・EPSの仕上げはすべて(天井)直天(床)RC直とする。  
 ※喫煙(1)(2)は上部H600を外気に解放するものとする。

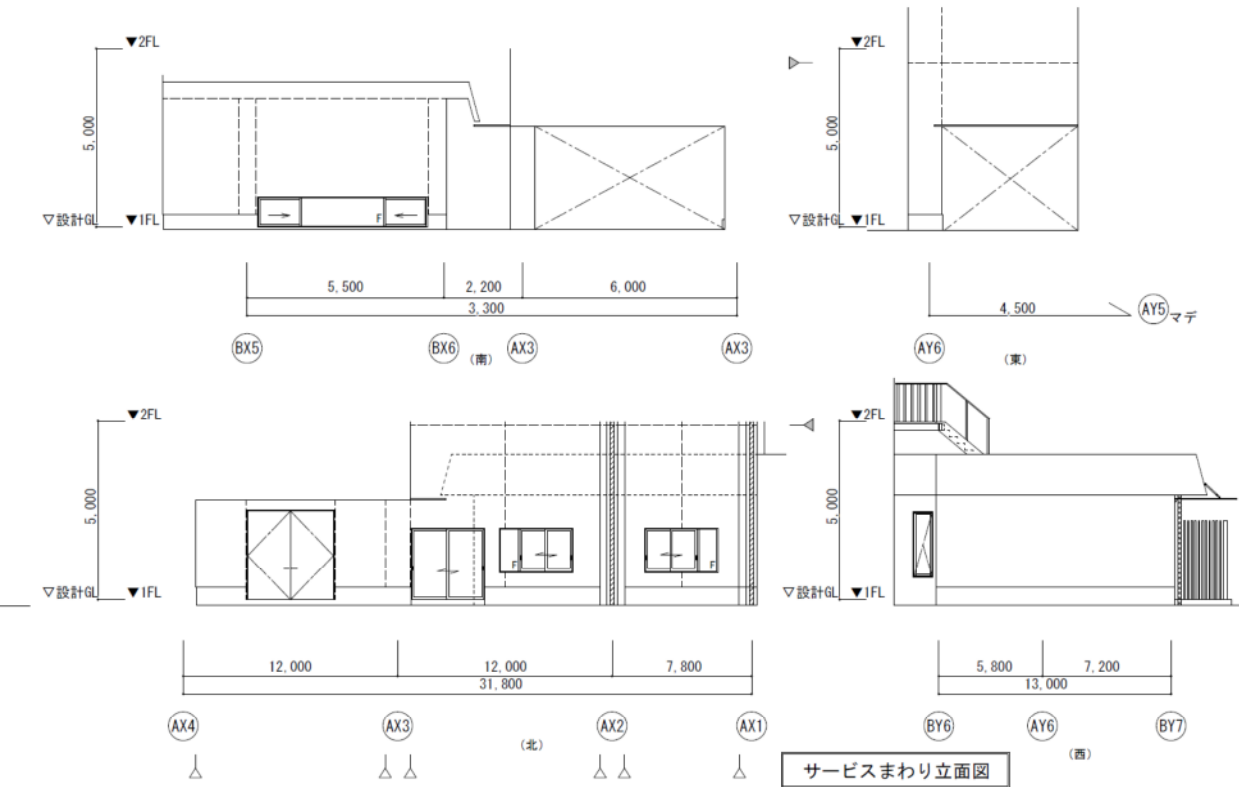
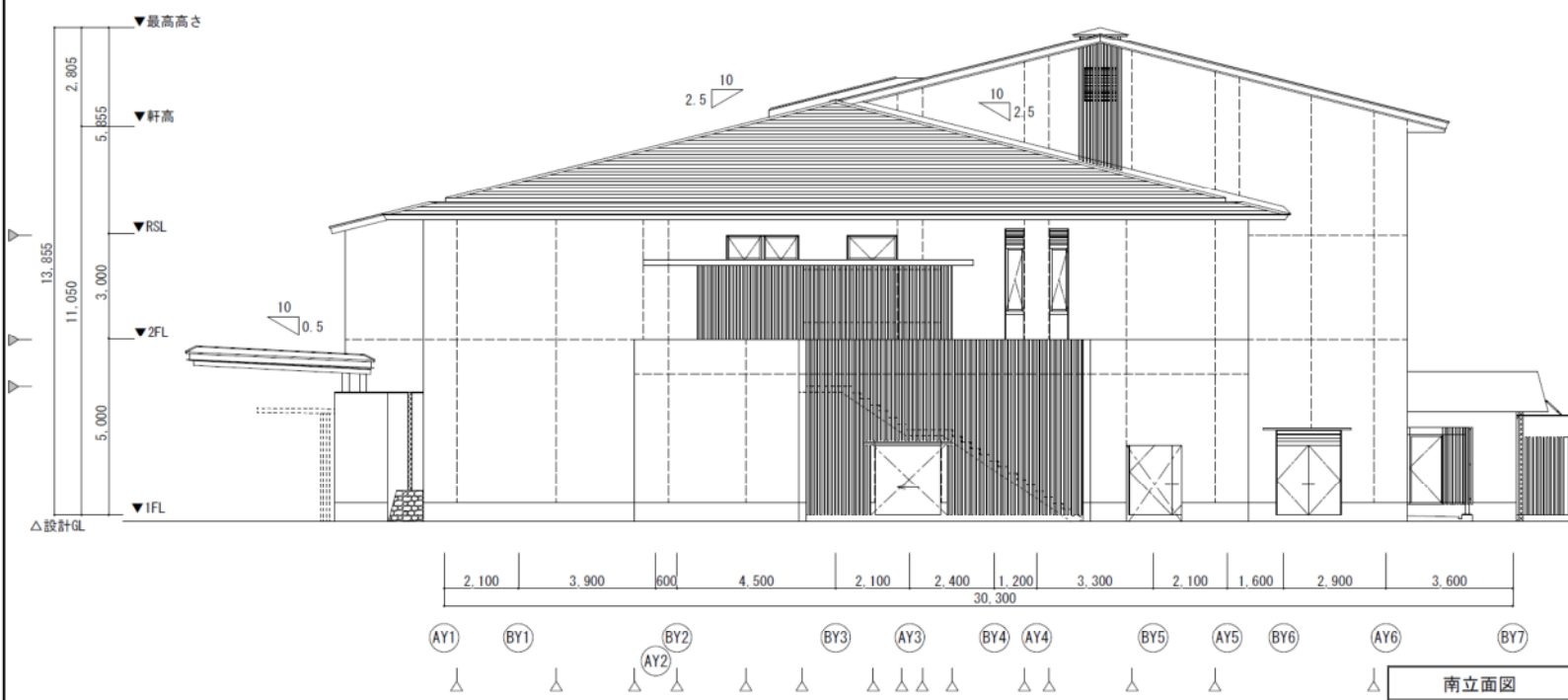


凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容
○	仕上げレベル	RC壁	RC壁	○	スライディングウォール	○	ルーフドレイン ※特記なき限り100φ	○	注意喚起用ブロック	○	延焼の恐れのある範囲	○	H12告示1436号第四号二(一) 適用区域
△	スラブレベル	靴拭き壁: W110	床下点検口 600角	○	床下点検口 600角	○	横引きドレイン	○	誘導ブロック	○	防火区画(巻掛区画 兼 防煙区画)	○	H12告示1436号第四号二(二) 適用区域
▽	屋外出入口	遮音壁 1: TL D44 W110 (90)	マンホール蓋 600φ	○	マンホール蓋 600φ	○	バルコニードレイン	○	ミニキッチン(電気ポット用コンセント付)	○	不燃区画(火災予防条例)	○	H12告示1436号第四号二(四) 適用区域
■	既存躯体部分	遮音壁 2: TL D51 W150	置き式消火器ボックス	○	置き式消火器ボックス	○	T 壁種 ※特記なき限り100φ	○	ベントキャップ(取工事)	○	防煙区画(巻掛区画)	○	令126条の2-1-3より排煙対象外
		遮音壁 3: TL D44 W110	壁内消火栓+消火器(取工事)	○	壁内消火栓+消火器(取工事)	○	T オープンフロー管	○		○	防煙区画(巻掛区画)	○	防火設備(法第2号第9号ニ・ロ)
		耐火壁 1: TL D44 W150	設備用基礎	○	設備用基礎	○	メンテナンスパイプ	○		○	自然採光区画	○	常時閉鎖式防火設備
		ふかし壁: W75(特記なき限り、外壁部分はW100)	設備用基礎	○	設備用基礎	○	一方栓/二方栓/三方栓	○		○	自然採光口	○	常時閉鎖式特定防火設備
			設備用基礎	○	設備用基礎	○		○		○		○	

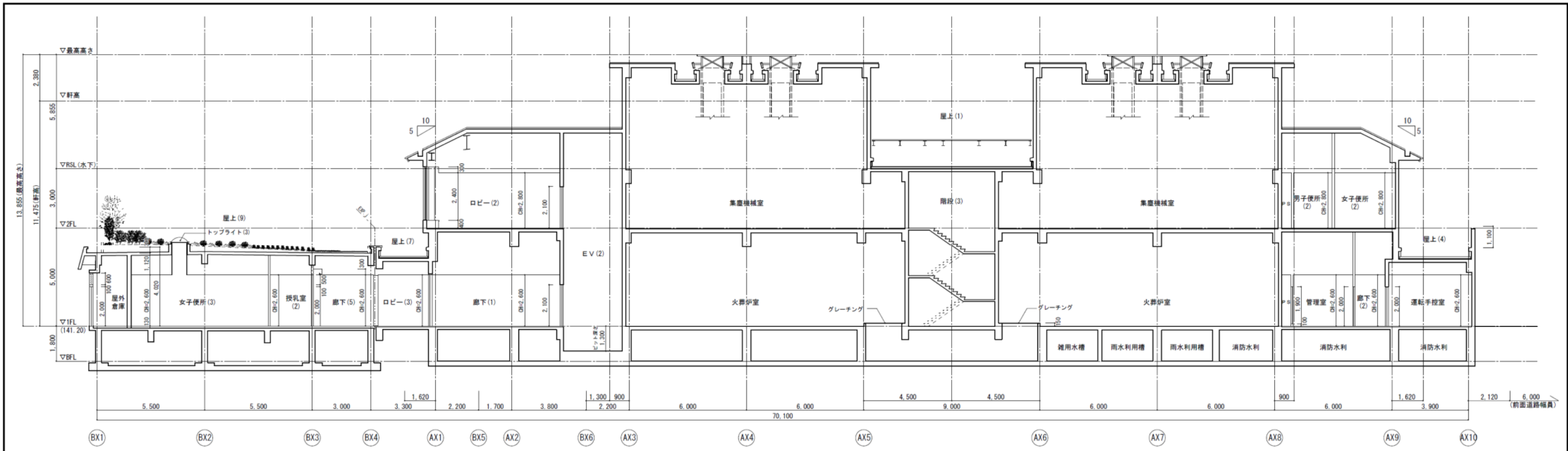
2FL=0+00=TP+5,141.20



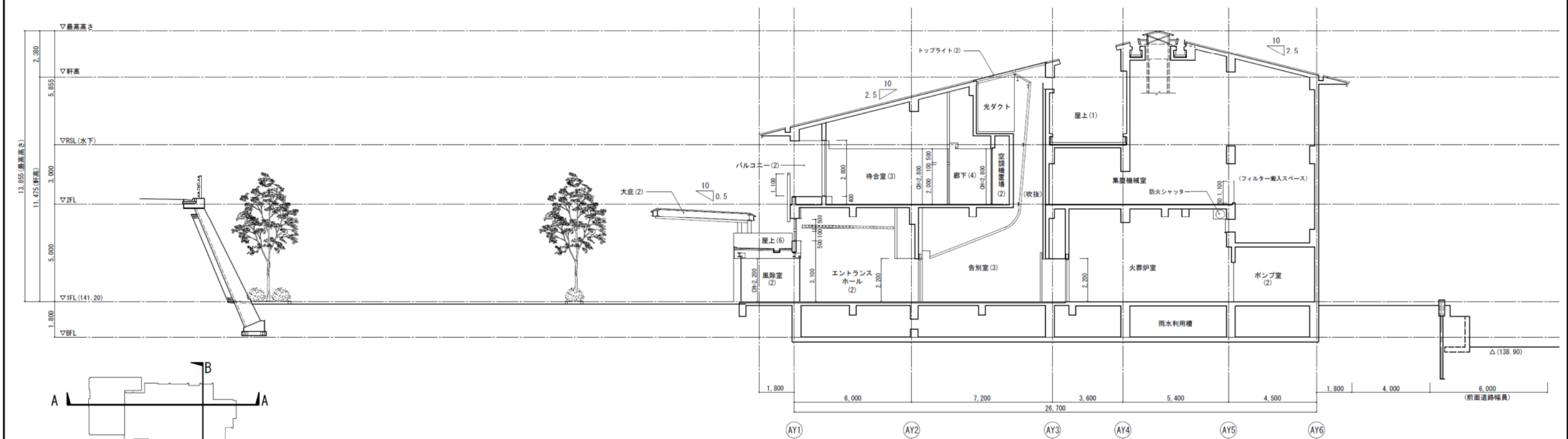
凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容
○屋根	ふっ素ガルバリウム鋼板 t=0.45 (横葺き)	○外壁	ALPL t=2.0 B-FUE	○小庇	アルミニウム庇 (既製品) t=22 B-FUE	∩	ペントキャップ (別途)
○障子	亜鉛めっきステンレス鋼板 t=3.0	○柱	耐火塗料	○軒天井	木モセメント板 (細目) t=15 EP	—◁	打継ぎ目地 (原則FL-20、バラベットのコンクリート立上り部はSL+150)
○屋根	チタン亜鉛合金板 t=0.5 (立平葺)	○柱	溶融亜鉛めっきの上りりん酸亜鉛処理	○塗膜防水	ポリマーセメント系塗膜防水	—▷	伸縮目地 (ひび割れ誘発目地)
○外壁	RC (B) 左官A	○外幅木	石張り① H=350	○屋外露段	屋外用ビニル床シート	---	※外壁目地は、原則隠し目地とする
○外壁	RC (B) 左官B	○外幅木	石張り② H=700	○カサ漏れ	溶融亜鉛めっき	////	たてどい アルミ製 100角 B-FUE (躯体凹部取付型)
○外壁	RC (B) 複層塗材E	○外幅木	モルタル金ゴテ仕上 H=350	○珪藻土	保存処理木材 38×130 #100 WP		たてどい アルミ製 114φ B-FUE
○外壁	スパンクリート 左官B	○外幅木	石積み① H=700	○珪藻土	保存処理木材 38×130 #200 WP	—■	メンテナンスパイプ SUS304 ダル仕上
○外壁	StPL t=3.0 溶融亜鉛めっきの上りりん酸亜鉛処理	○小庇	アルミニウム庇 (既製品) t=150 多色ふっ素樹脂焼付塗装 (特殊模様仕上)	○底	アルミニウム庇 t=150 多色ふっ素樹脂焼付塗装 (特殊模様仕上)		



凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容	凡例	内容
○屋根	ふっ素ガルバリウム鋼板 t=0.45 (横葺き)	○外壁	ALPL t=2.0 B-FUE	○小庇	アルミニウム庇 (既製品) t=22 B-FUE	〰	ベントキャップ (別途)
○陸葺	葦鉛めっきステンレス鋼板 t=3.0	○柱	耐火塗料	○軒天井	木毛セメント板 (細目) t=15 EP	—◁	打継ぎ目地 (原則FL-20、バラベットのコンクリート立上り部はSL+150)
○屋根	チタン亜鉛合金板 t=0.5 (立平葺)	○柱	溶融亜鉛めっきの上りん酸亜鉛処理	○塗膜防水	ポリマーセメント系塗膜防水	—▷	伸縮目地 (ひび割れ誘発目地)
○外壁	RC (B) 左官A	○外幅木	石張り① H=350	○屋外階段	屋外用ビニル床シート	---	※外壁目地は、原則隠し目地とする
○外壁	RC (B) 左官B	○外幅木	石張り② H=700	○バルコニー	溶融亜鉛めっき	〰〰〰〰〰〰	たてどい アルミ製 100角 B-FUE (躯体凹部取付型)
○外壁	RC (B) 横層塗材E	○外幅木	モルタル金ゴテ仕上 H=350	○珪藻土	保存処理木材 38×130 #100 WP	〰〰〰〰〰〰	たてどい アルミ製 114φ B-FUE
○外壁	スパンクリート 左官B	○外幅木	石積み① H=700	○珪藻土	保存処理木材 38×130 #200 WP	—■—	メンテナンスパイプ SUS304 ダル仕上
○外壁	StPL t=3.0 溶融亜鉛めっきの上りん酸亜鉛処理	○小庇	アルミニウム庇 (既製品) t=22 多色ふっ素樹脂焼付塗装 (特殊模様仕上)	○珪藻土	保存処理木材 60×60 #100 WP		
				○庇	アルミニウム庇 t=150 多色ふっ素樹脂焼付塗装 (特殊模様仕上)		



A-A断面図



B-B断面図

凡例	内容	凡例	内容	備考
	既存躯体部分		延焼の恐れのある範囲	d: 窓の直上にある建築物の各部分から、道の反対側・敷地内建築物境界線までの水平距離
	防火区画 (面積区画 兼 防煙区画)		防煙区画	h: 窓の中心から直上の建築物の各部分までの垂直距離